

眞の過ち

あやま

昨今、新聞をいろいろとヨリたくあきれてしまうことばかりだ。

東京五輪の経費問題、原発での次々の不備、豊洲市場への移転問題、ポケモンGoでの迷惑行為。ある県の議会では政治活動費の不正が次々に発覚している。この事例は氷山の一角との指摘もあり、全国に波及するとの見方もある。

人間はだれでも過ちをおかすものである。といふことは皆がわかっている。

そして、もし自分に過失があった場合は、その誠実さに従ってすぐに改めるべきだとも多くの人は考えているはずだ。

しかし往々にして人は自分の過ちを認めたがらない。

反省のかわりに同じ過ちをくり返すのも問題だが、過ちを認めずに反省すらしない態度はさらに問題だ。

中国の古代思想家孔子はある書物で次のような言葉を残している。

過ちて改めざる、これを過ちといふ。

過ちをおかしたのに改めない、これが眞の過ちだ。



福ニキ
校長室
だより

ほたる草

平成二十八年十月七日(金)

NO.115

蒼天に
金まじりの
秋の田の
池上治山人